

第 3 回中谷地区まちづくり委員会（現地調査）

11 月 18 日の日曜日の午後、中谷地区まちづくり委員会参加者 16 名で中谷地区内において各自に取り組みを行っている地域づくりの現地調査を行ないました。

1 . 瀬戸山づくり

大日山における形見地区の瀬戸山づくりを最初に形見地区の中谷地区まちづくり委員であります有賀さんより現地において活動状況について説明をいただきました。

事業概要

町を通して県の森林整備事業を導入、大日山を核とした遊歩道の整備及び森林環境整備を 5 ヶ年間の事業として取り組んでいる状況について報告頂きました。

県道から大日山山頂までの遊歩道の整備と間伐により眺望景観の確保をはかることによって、登山者の増大を計画している。

写真挿入

2 . 古内の桜

桜の大木の保存と周りの環境整備の取り組み経過について、中谷地区まちづくり委員会会長の水野さんより説明を受けました。

計画は、桜の周りの立木伐採と低木の植樹を行うなど桜を核とした環境整備を地域をあげて取り組むもので、数年の計画目標をもっております。

写真挿入

3 . 蛭の里づくり構想

砂防工事により整備された谷沢字後作地内小河川の環境整備を図り蛭の里を造る箇所について、視察を行い構想について、説明を受けました。

構想については、蛭の育成を図る学習と河川環境を整備して、蛭の餌となる貝類の繁殖を行うことによって、蛭が飛び交う里づくりとする。

写真挿入

4 . 二本ぶな

石川町で高峰にあたる二本ぶなの環境保全に中田地区をあげて、20数年も取り組んでおり、近年は、形見地区と同じく森林環境税の導入を図り、さらに整備を進めております。山頂からの眺望は、那須連峰、会津磐梯、山安達太良山、近くは福島空港、蓬田岳と180度の大パノラマは壮大である。

写真